

東京後楽ロータリークラブ週報

The Rotary Club of Tokyo Koraku Weekly Report



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

「困っている人々を支援しよう」
～SERVE TO CHANGE LIVES～
「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」

2021年～2022年度 会長
富成 明彦

2021年～2022年度 国際ロータリー会長
シェカール・メータ

職業奉仕月間

2022年1月25日発行 (No.994)

第994回 例会

卓話「外見力でビジネスが決まる！
ネクタイから始めるイメージ戦略」
㈱ビジュアルコーチ 代表取締役
野瀬 まりこ 氏

ニコニコBOX

志熊会員:認証状伝達式、皆様のおかげで無事行うことが出来ました。有難うございました。

ミリオンマイルズ:1,374円
本年度合計:575,242円

例会案内

2月1日 「クラブフォーラム」

～オープン例会について～

2月8日 休 会

2月15日 「オープン例会」

CLUB NEWS

- ◆ 1月27日(木) ”職業奉仕の実践”をテーマに行うワークショップに、長興会員、志熊会員が参加致します。漆原節子パストガバナー(勝浦RC)と中川雅雄ガバナー補佐(東京浅草RC)に講演を頂きます。
- ◆ 2月1日(火)東武ホテルレバント東京で開催される「新本年度地区納めの会」に、長興会員と尹会員が席致します。

MEMBER'S NEWS

- ◇ 島山会員の会社名、職業分類が2月より変更になります。

地区大会が3倍楽しみになる動画 ラウンジ chat

地区大会の見どころ紹介の動画を公開いたしました。

こちら <https://youtu.be/7tNGh99nToo>

今回のラウンジ chat では
実行委員長と地区大会担当地区副幹事が
今年度の地区大会の見どころを熱く紹介しています！

職業分類 : オフィス家具販売(事務用品)

前回例会

第993回例会

卓話「COVID-19 流行期の歯磨きの注意点」

甲斐 哲也 会員

出席状況

第993回例会

出席 23名 欠席 20名
ビジター 0名 ゲスト 1名
林涛さん(米山奨学生・木津会員ゲスト)
出席率:69.10% 前例会修正後:86.74%



2022年1月16日 文京第5団 IAC 認証状伝達式

TEL : 03-5940-3355 FAX : 03-3947-4010 E-Mail : koraku@mint.ocn.ne.jp

例 会 毎週火曜日12時30分 / 東京ドームホテル 電話 : 03-5805-2111

事務局 〒112-0014 文京区関口2-10-8 藤田観光(株)別館内

会 長 富 成 明 彦 / 幹 事 工 藤 研 / 会 報 委 員 長 高 橋 太 郎

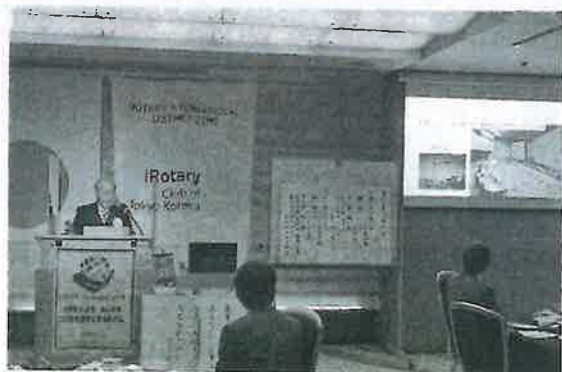
URL <http://www.korakurotary.com>

第988回例会「道路交通情報から見たラジオ放送の世界」

東村山ロータリークラブ 北久保隆一氏

東京東村山ロータリークラブ、次年度会長の志熊様と同期でございます。どうぞよろしくお願いたします。

「道路交通情報から見たラジオ放送の世界」我が国の最初のラジオ放送というのは、「聞こえますか、こちらは東京放送局であります。」1925年3月20日日曜日の朝9時半、NHKの京田武男アナウンサーの一声でございました。それから96年で今時代がすっかり変わりました。日本にテレビが入ってくる前、ラジオが一番の家庭の娯楽でした。例えば、君の名は、木曜日の夕方女性の銭湯が空っぽになってる。遠州森の石松、これは浪曲で広沢寅三で、宮本夢声こうしたものを聞いたことがある方はいらっしゃいますか。1957年私が、小学校3年の時赤胴鈴之助というラジオドラマが始まりましたね。今で言うTBSです。昔はラジオ東京と言っていましたけど、そして、中学校時代、これは東村山市立第二中学校です。第4期生に、志村けんさんがいらっしゃいましたね。國學院大学に入り、アナウンス研究会に入りました。大学卒業後1971年4月に日本道路交通情報センターに入社しました。公益財団法人日本道路交通情報センターの設立は昭和45年、1970年でした。道路交通情報の歴史は日本道路交通情報センターができる前からあり、ラジオ放送は昭和32年1957年ですね、文化放送で、レコードの音楽番組もありまして、その中に、道路の工事情報を少し載せたんですね。それが日本で最初の道路の情報、その後、昭和34年、ラジオ関東今のラジオ日本です。東京オリンピックが昭和39年です。昭和49年になりますと、車両感知器、警視庁の交通管制センター、今度は管制センターになりますが、これができまして、道路の上に、信号のぐらいの高さのところ、下向きにラップみたいのがあるんですが、その先端から音波が出てくるんですね。それで通る車の台数はもちろんスピードもわかる。自動的に混雑を、一番右に地図があるんですがそこに自動的に表示するというシステムができました。それは昭和49年です。皆さん渋滞と言いますが、実は定義がありましてね、渋滞という用語は警察用語でした。NHKでもご紹介されました。高速道路は時速平均時速40キロ以下。首都高速は平均時速20キロ、一般道路は平均時速が10キロ以下になったときに渋滞と表現しています。あと例えば時速60キロぐらいになってちょっと流れが悪いなっていうのは、流れが悪くなっていますっていう表現をしています。放送の大原則ですけども、時間厳守なんですよ。ラジオ放送の場合、視聴者が耳からの音だけでしか理解できないので、放送局側から呼ばれたら例えば警視庁捜査上などでは、すぐに返事をしないと、いないと思われてるんですね。それから、音だけの世界ですから同音異義語に注意します。あと放送禁止用語っていうのがあります、例えば、運ちゃん、おまわりさんっていうのも、放送じゃ本当はいけないんですね、婦警さんも女性警察官って表現しなくちゃいけない。私の20年前なんですね。よく声は年取らない言いますが、実際取ります。70才ですが50代と比べると本当に全然違います。歯切れがもう全然違います。スマホ、インターネット、テレビ電話時代ですね。便利とは裏腹に、時間とか距離がぐっと縮まりました。様々な、そして揉め事が発生しています。ですから、もう少しタイムラグを持って、また時間を置いた対応を心がける。日本で言えば、急がば回れという言葉あります。それから、これはペルーのことわざだそうです、遅れてもいいから、無事に乗客を目的地に到着させることというのがあります。



それでは終わりに、川端康成作「雪国」、朗読は北久保隆一です。どうもありがとうございました。